



# 2年学年だより

発行日：令和2年11月30日（月）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：三浦 昌彦 NO. 6

## 令和3年度生徒会役員選挙が行われました！

11月17日（火）に令和3年度生徒会本部役員を選出する立会演説会が、高校と合同でビデオ放送で行われました。候補者たちは『やろう！』の一言が言える、行動に移せる学校を実現したい」「言いにくい・言えないを、言いやすい・言いたい雰囲気づくり」「様々な学年、クラスの人と交流し、その中で互いに信じあえる関係を築いていきたい」など、思いを熱く語りました。同日に投票した結果、令和3年度生徒会本部役員が以下の通り決定しました。

生徒会長	■■■■	さん（2年4組）
役員	■■■■	さん（2年1組）、■■■■さん（2年3組）
	■■■■	さん（2年3組）
	■■■■	さん（1年1組）、■■■■さん（1年2組）



令和2年度 現生徒会本部役員のみなさん



令和3年度 新生徒会本部役員のみなさん

今年度、生徒会本部は「伝える伝わる広げる言の葉 ～あなたも生徒会員の一人～」という生徒会目標を掲げて活動しています。この1年、新型コロナウイルス感染予防のために、生徒会活動がかなり制限されています。そのなかでも3学年の互いのつながりが少しでも感じられるようにと、部活動紹介ビデオを作成したり、例年のSLM（スマイルランチミーティング）に代わる活動を企画したりしています。12月から3月までの4カ月、現役員と新役員の10人がともに活動することで、生徒会本部活動の引継ぎとパワーアップとを目指していきます。

本部役員は附属中生の代表として活動していきますが、附属中学校を作っていくのは全校生徒のみなさんです。南高校附属中学校は、来年度で開校10年目を迎えます。その時その時の附属中生が試行錯誤を繰り返して、今の附属中学校を作ってきました。附属中学校が開校した頃の先輩方が思い描いていた中学校生活を、今、みなさんが送っているのです。次は7・8・9期生のみなさんが節目となる10年目の附属中学校を作っていきます。「こんなことやってみたい」という一人ひとりの思いが、さまざまな生徒会活動（クラスの係活動や委員会活動や学校行事など）となり、それらが結集されて附属中学校の生活は充実していきます。一人ひとりの思いを、互いに聞き合い受けとめ合って、行動へつなげていきましょう。附属中生とともに、南高校附属中学校も日々新しく成長していきます。

# 法教育講座 11月7日(土)実施!

毎年行われている、2年生必修 EGG 講座「法教育講座」を、神奈川県弁護士会から4名の弁護士の皆様にご来校いただき、今年も実施することができました。

生徒2名と弁護士4名による南高ホールでの模擬裁判の劇を、たくさんの資料をもとに全員で鑑賞してから、各教室へ移動。劇の中で登場した被告人が、有罪であるということを証明できるか否か、また「合理的な疑いを超える証明」という考え方も学びました。グループワークの後は、各クラスで「弁護士になるには」というキャリア教育の時間もあり、弁護士の実際について、たくさんの質問が上がりました。個性豊かな弁護士の方々から、とても貴重なお話を聞くことができました。



## 1組

・模擬裁判を通して、有罪か無罪かを決めるときは「証拠」が必要なのだとよく分かりました。初めは有罪なのかなと思っていた部分があったけど、警察官が言っていた「不審人物」は「被告人」という言葉をすぐに受け入れるのではなく、しっかり証拠があるかを考えると、証拠ははっきりしておらず、違うのではないかなと感じました。でも、他の「同じ時間帯に同じ服や物を持ったバイクの人はなかなかいない」という意見にも納得し、1つの考えにとらわれるのではなく、たくさんの方向から考える

の大切さも感じました。また、法律家になるには「司法試験」に合格しなければいけないのだと分かりました。私は今日学んだことを生かして、様々な立場から物事を考えられるようにし、慎重に選択できるようにしていきたいです。

・有罪にするのがなかなかできなくて、無罪になった。実際の判決で有罪になっている人は、そうとう決定的な証拠があったんだなと思った。話し合いの途中、弁護士バッチを見させていただいて、とてもカッコいいなと感じた。クラスでの話し合いでは、■さんの意見には根拠がともなっていて反論しづらかった。同じ事柄でも、違う意見が多くて、弁護士によっても変わってくるんだなと思った。今までも、人の意見をきこうとはしていたけど、一人だけ反対とかなるといづらくて黙ってしまっていたので、発信していきたい。

## 2組

・裁判は人の人生を大きく変えてしまうものなので、すごく重要だと思いました。弁護士の被告人に寄り添う姿勢や、長い時間がかかっても続ける集中力は尊敬したいです。被告人が元の生活に戻れるお手伝いは、カッコいいと思います。いろいろな証拠を集めて、被告人の意見を尊重するのは、普段の生活で、一人一人違う意見を持っていても否定しないようにすることにつながると思うので、意識したいです。

・裁判を体験してみて、有罪かどうかの判断をするのは、非常に難しかった。当然ではあるが、明らかに有罪でも、それを立証しなければいけないし、証拠がなければ有罪にできない。与えられた証拠で有罪と言い切れるかの基準があいまいだった。また弁護士の方にお話をうかがうのは初めてで、実際の仕事について直接聞くのは、とても貴重な経験だった。また機会があれば質問させていただきたい。

### 3組

・そもそも裁判がどんなものなのか、ほとんど知らなかったので、事前学習から今日の講座を受けて、何となく仕組みを理解することができてよかったです。また「白雪姫裁判」でも今回の裁判でも、不十分な証拠を頼りに被告人が有罪か無罪かを決めなくてはならなくて、自分で考えるのはとても難しく感じました。裁判は必ず「有罪」「無罪」という判決が下されるものだと思っていたので、「和解」が多いことに驚きました。

・見方によって同じ人でも良くも悪くもなると思って驚いた。人の罪を決めるということは、その人の人生を決めることになるので、簡単には考えられない問題だった。弁護は証拠を基に、より有利になるようにする戦力ゲームと似ているのかなと思った。私には苦手だな…とも思う。口論が強い人も向いている気がする。

・弁護士は、いろいろなことを知っていてすごいと思った。裁判では有罪、無罪を決めるが、今はあまり詳しくなくて決めにくかったが、結論を頑張って出した。海老名の役をやるのが大変で疲れた。でも、やっていて結構楽しかった。弁護士、裁判官、検察官になるためには、法学部などの大学にも行って、司法試験にも受かって等と、自分たちから見たらとても遠くて、すごいと思った。合格率も高くはなくて大変だと思った。でも、あまり弁護士にはお世話にならないようにしたいと思った。

### 4組

・私は裁判について、全くと言っていいほど知識がありませんでした。そのため今回の講座は、初めて知ることばかりでとても面白かったです。模擬裁判では実際の流れなどを知ることができました。その後、自分たちで有罪、無罪を考え、その難しさを知りました。状況やその様子を常識的に見ると明らかに有罪なのに、確実な証拠が何一つなく、無罪と判断しました。悔しかったです。最後の質問タイムでは、弁護士になるまでの道のりの長さや大変さを知り、驚きました。全体を通して裁判や法律家のイメージが変わりました。ニュースなども違った目で見たいです。

・法律家になるための道のりが予想以上に長くおどろきました。犯人が本当に犯人だとは思いましたが、証明する手段がないため何ともいえませんでした。検察官の人と弁護士の人は的確な証言をしなければならないので、本当にすごい人たちだと思いました。少しだけ法律家への憧れも抱きました。裁判員になった一般人は最終的には印象で判断することになると思いました。



○神奈川県弁護士会の皆さん、ありがとうございました○

## 8期生の新・生徒会本部役員より

4組： ██████████

皆さん、こんにちは。次期会長の ██████████ です。まずは先日の選挙へのご協力、応援の声などありがとうございました。皆さんからの信頼を忘れず、精一杯努めていきます。私は演説会の際、『活発な学校にしていく』と話しました。しかし、本部6人の力だけでは実現できません。実現には生徒会員一人一人…つまり皆さんの力が必要です。なので、生徒会活動へのご協力をよろしくお願ひします。今よりも活発な学校を実現させます。

1組： ██████████

こんにちは。新しく生徒会役員になった ██████████ です。私は南高附属中を、今よりもっと、学年を超えて仲良くなれる学校にしていきたいと考えています。皆さんはどうですか。こんな学校にしたいと思う考えや意見、それが言いやすくなるように、できればそれらが実現するように、皆さんと一緒に力を尽くしていきたいと思っています。選んでもらったことへの感謝を忘れずに、恩返しの気持ちを込めてこれから活動していきます。よろしくお願ひします。

3組： ██████████

皆さんこんにちは。8期生徒会本部の ██████████ です。私は、この生徒会本部で少しでも学校を改善し、皆さんが来たいと思える学校をつくっていききたいです。そのために他の人と協力して、より良くしていきます。でも、僕たちだけではつくることのできないので、中学生全員に協力していただくこともありますが、皆さんも一緒に学校をつくっていただけたら嬉しいです。これからがんばります。

3組： ██████████

この度、8期生徒会役員を務めさせていただくこととなりました、 ██████████ です。人並にできることはあれど、別段何かに優れた訳ではない。私は大した人間ではありません。しかし周りの人に助けられ支えてもらったから、ここまで過ごすことができました。だから皆にその恩を返し、そして私達のより良い学校生活のため活動していきます。皆に任された大任、務めあげられるよう力を尽くします。これからも応援、宜しくお願ひします。

## 道徳リレー

10月5日を皮切りに、今年も『道徳リレー』を実施しています。学年所属の7名の職員が、ランダムに各クラスを担当するため、毎回道徳の時間が来るたびに、「今日ほどの先生かな〜？」という状態で、担当の先生を迎えます。7人のテーマは多岐にわたり、アプローチの仕方も、資料や絵本を味わうものから、すごろくやカードを使ったものまで、様々です。最終回は12月7日(月)、最後の回まで楽しく考えを



を深められるとよいですね。